

自動扉設備保守点検業務特記仕様書

1 業務概要

本業務は、大阪市立科学館の自動扉設備の保守点検を行うもので、設計図書(本仕様書、共通仕様書)に基づき保守点検を行うとともに、それに伴う書類の作成及び手続き等、報告書を提出するまでの一切の業務を行うものとする。

2 対象機種

(1)

機種等	①BF スロープ入口自動扉	DSN-75S	片開き	1台
	②BF スロープ入口自動扉	DSN-75D	両開き	1台
	③1階エントランス自動扉	DSN-150D	両開き	4台
	④1階喫茶横入口自動扉	DS-41D	両開き	2台
	⑤B1F 多機能トイレ自動扉	カームスライダー	片開き	1台

製造メーカー：①～④ ナブコドア株式会社

⑤ 文化シャッター株式会社

製造年：①～④ 1988年製

⑤ 未定(設置2021年)

3 点検内容

定期点検の内容については、共通仕様書第2編第2章第1節 2.1.1～2.1.2、第2節 2.2.9、第3節 2.3.6によるものとする。

なお、「2 対象機種」の①②③はメーカー仕様のフルメンテナンスとし、④はメーカー仕様のレギュラーメンテナンスとし、⑤は2023年1月まではメーカー保証期限内のため点検としては日常的な動作確認を行うこととする。

4 その他

(1) ①②③④の点検業務は、3ヶ月に1回(6月、9月、12月、3月)専門の技術者を派遣し、必要な点検・清掃・調整・修理を行い、性能を最高に維持するよう適切な処理を行うこと。

(2) 作業日は、大阪市立科学館休館日のメンテナンス可能日の午前9時00分から午後5時30分までを原則とする。

ただし、発注者と十分協議のうえ、施設の運営に支障のないものについては、その限りではない。

(3) 故障・事故等が発生した場合は、上記にかかわらず速やかに専門の技術者を派遣し、適切な処置を行うこと。

(4) 劣化及び不良等を発見した場合、必要に応じ劣化状況等を示す写真及び図面等をあわせて速やかに報告すること。

- (5) 全ての専門技術者に対して、技術研修の充実を図り、作業マニュアル等の周知徹底を行うこと。また、点検作業については常に複数でのチェックを実施するなど、履行の確認を徹底すること。